

淑女検定

☑ チャレンジテーマ **チョークアート**

庭の小さな花壇が満開になった。春を満喫したくて、自宅の庭をカフェテラス風にアレンジして友人を招くことに。春色のテーブルクロスを広げ、ガーランドも飾った。そしてチョークアートの手描きの看板も…。

SBS学苑
パルシェ校

今月の
先生



【「チョークアート」講師】

比企 京子 ひき きょうこ

(日本チョークアート協会ビジネス会員)

カフェやレストランの看板として発達したアートです。

SBS学苑パルシェ校
INFORMATION

5/29(日) 13:00~16:00

チョークアート
梅雨を楽しもう!

受講料 / 2,160円 教材費 / 2,340円
講師 / 比企京子 (UCAビジネス会員)

あじさい、傘、レインブーツなど梅雨のモチーフをおしゃれに描きましょう。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221

問題 **1** カフェでよく見かけるチョークアートの看板。実はチョークは使っていないので手で触っても消えない。どんな画材を使っている？

- A. 植物染料 B. アイシャドウ
C. オイルパステル D. 岩絵の具



問題 **2** カフェ風の看板を描いてみることに。コーヒーを描く時のポイントはふんわりした湯気。さてどうやって描く？

- A. 指の腹を使う B. 湯気をあてる C. 霧吹きでシュツ



問題 **3** 次はイチゴの絵に挑戦！ イチゴを描く時も立体感を出すために指が活躍するという。指でどんな作業をする？

- A. 指先でトントンたく
B. 指先をくるくる回す
C. 黒板を爪で引っかく



正解 & 解説

問題 **1** → 正解 **C**

チョークアートという名称だが、黒板用のチョークはこすると消えてしまうので、メインの絵や店名はオイルパステルで。重ね塗りやぼかしなど、黒板の上に描くアートには最適だという。比企先生の愛用画材はべんてるの「**専門家用パス**」。49色のオイルパステルを塗り重ね、深みのある作品に仕上げていく。「本日のランチ」など頻繁に書き換えた場所だけ黒板用のチョークを用いる。

問題 **2** → 正解 **A**

透き通った湯気は指の腹で描く。白のオイルパステルを指に付け、下から上に力を抜いてすーっと優しく。細長く少し重ねると洗練されたコーヒーの湯気に。ふわっと幅のある湯気にすると、よりほっかほか感が出る。温泉マークのような3本の湯気にならないよう注意したい。「指を使った文字通りの「手描き」なので、写真よりも温かさやおいしさが伝わるんです」と比企先生。

問題 **3** → 正解 **B**

指でくるくるとオイルパステルをなじませることで、イチゴの丸みを出す。まずはツヤ感のある場所に白を塗り、黄色、オレンジ、赤、濃い赤…と薄い色からオイルパステルを塗り重ねる。そして指でくるくる馴染ませるとあっという間に立体感のあるイチゴが。仕上げに黒鉛筆で種を加えて出来上がり。「絵に正解はないので苦手な人でも大丈夫！色を重ねて作り出すおもしろい世界ですよ」